



こんにちは

議会です！

きたもと議会だより



北本市議会 議場閉場式

平成25年9月20日(金)に、9月定例会閉会后、新庁舎への移転に伴う現議場の閉場式を行いました。議長が閉場の辞を述べた後、全員で現議場に敬礼し、昭和38年以来、50年の歴史に幕を閉じました。

議会報告会開催！

北本市議会は、より開かれた議会を目指し、議会閉会后に市民の方々への議会報告会を開催いたします<参加自由>

日時

平成25年11月10日(日)
午後1:30～3:00

場所

委員会室2(市役所3階)

内容

平成25年9月北本市議会定例会における各常任委員会の審議概要等について

お問い合わせ

議会事務局(市役所3階)
TEL: 048-594-5560

● 主な内容

9月定例会……②

一般質問……③～⑤

議会・委員会の動き……⑥～⑦

提出案件の結果等……⑧

会 期 日 程

8月28日(水)本会議(開会)
8月29日(木)議案調査日
8月30日(金)議案調査日
9月2日(月)議案調査日
9月4日(水)本会議(総括質疑)
9月5日(木)本会議(委員会付託)
9月6日(金)委員会(総務文教・建設経済)
9月9日(月)委員会(保健福祉)
9月10日(火)委員会(総務文教・建設経済)
9月11日(水)委員会(保健福祉)
9月12日(木)本会議(一般質問)
9月13日(金)本会議(一般質問)
9月17日(火)本会議(一般質問)
委員会(建設経済)
9月18日(水)本会議(一般質問)
9月20日(金)本会議(閉会)

No 86

平成25年(2013)11月1日発行
編集 議会だより編集委員会
発行 北本市議会
北本市本町1-111
TEL 048-591-1111
FAX 048-591-6335
www.kitamoto-gikai.jp/

9月定例会

平成24年度 一般会計 特別会計 歳入歳出決算を認定

8月28日から9月20日までの24日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案29件、議員提出議案2件、委員会提出議案1件、請願2件を慎重に審議しました。

特に、JR高崎線の北本駅・桶川駅間の新駅建設について、その賛否を問う「北本市における新駅建設の賛否を問う住民投票条例」が提出され、挙手多数により可決しました。

今定例会で審議された市長

提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第60号 平成24年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑通告者

加藤勝明（平成会）
高橋伸治（市民の力）
湯澤美恵（共産党）
保角美代（公明党）
金子眞理子（民主北本）
現王園孝昭（政策北本）
渡邊良太（無所属の会）

※通告順に掲載

Q、平成24年度に取り組んだ
主要な事業について

A、教育環境の整備については、栄小学校、宮内中学校の校舎や中丸小学校、石戸小学校、南小学校、北小学校、西小学校、東中学校の屋内運動場の耐震補強及び大規模改修工事を実施しました。

また、小・中一貫教育を推進し、学力を向上させるため、小・中学校の教員が互いに兼務し、義務教育9年間を通して、子どもたちの学びを支えるよう取り組みました。

子育て環境の整備については、平成25年1月診療分から子ども医療費の窓口払いを原則廃止するとともに、病気の回復期にある子どもを保育する病

後児保育事業を開始し、めざせ日本一、子育て応援都市宣言のまちにふさわしい環境づくりを進めました。

高齢者福祉の充実については、介護予防事業等を推進する地域包括支援センターの運営を引き続き支援するとともに、高齢者安否確認システムの実証実験を実施しました。

産業観光については、これまで積極的に行ってきた誘致活動が実を結び、関東グリコ北本ファクトリーが本格稼働となりました。平成24年10月からは工場併設の見学施設グリコピア・イーストもオープンし、大変な盛況となっています。

また、観光100万人都市

の実現に向けて、石戸蒲ザクラを魅力発信のシンボルとするため、周辺整備の基本方針を策定しました。

農業の振興については、農業経営の発展、継続のため、農業関係者、団体を支援するとともに、遊休農地の解消を図るための景観作物の栽培や果樹ブランド力強化等の取組みに対し支援を行いました。

都市基盤の整備については、北本市初のネーミングライツを導入した三国コカ・コーラボトルینگ北本みずびろばを開園するとともに、首都圏中央連絡自動車道とJR高崎線との立体交差を掘削構造からボックス構造とするための負担金を支出しました。

また、市民サービスや防災の拠点となる市役所新庁舎の建設工事を開始しました。

これらの事業を進めるに当たっては、国の復興予備費等の補助金や地方交付税等の有利な地方債等を活用するとともに、経費節減に努めた結果、限られた予算の中で一定の成果を上げ、多くの評価を得られたものと考えています。

記名投票の結果

「議提第2号」新駅設置の決議

「賛成者」12名

大嶋達巳、渡邊良太、桂 祐司、大澤芳秋、保角美代、滝瀬光一、岸 昭二、島野和夫、黒澤健一、加藤勝明、横山 功、伊藤堅治

「反対者」7名

高橋伸治、工藤日出夫、湯澤美恵、中村洋子、現王園孝昭、金子眞理子、高橋節子

【紹介】

今定例会において同意されました方々を紹介します。

○教育委員会委員

住所 さいたま市北区千呂町

氏名 小尾富士雄氏

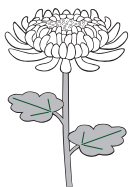
○人権擁護委員候補者

住所 北本市荒井1丁目

氏名 新井 勇氏

住所 北本市本宿6丁目

氏名 小川静枝氏



市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。質問方式は、一問一答方式または一括質問一括答弁方式との選択制で実

施しています。

今定例会では、16人の議員から61件113項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

地域防災計画

問1 北本市地域防災計画の見直しについて

答1 埼玉県による地域防災計画の改定及び東日本大震災の教訓を踏まえ、北本市地域防災計画を平成25年7月に修正しました。

主な修正点は、地域と連

携した避難所開設、防災備蓄資機材の見直しや拠点防災倉庫の設置、福祉避難所の指定等避難所の見直し、女性や要援護者等に配慮した避難所の設営等の避難対策、また、帰宅困難者支援対策を含めた避難計画の修正、さらに災害時要援護者避難支援プランの作成等、災害に強いまちづくりを目指す計画としました。

新庁舎

問1 市役所駐車場の確保と不正駐車対策や有料化の検討はされているのか

答1 市役所の駐車台数は146台から143台に減少します。(仮称)こどもプラザの来館者もあり来庁

者は増加すると考えますが、

一体利用が可能な文化センター西側へ33台分の駐車場を新設しました。また、有料化・パーキングゲートの導入については、維持管理の費用対効果も考え調査研究をします。

問2 新庁舎に太陽光発電の導入を進めるのか

答2 太陽光発電の導入については、平成24年12月議会で太陽光発電に関する決



8月に行われた防災訓練の様子



新庁舎駐車場の様子

議が可決されましたので、環境対策としてのコンセプトを踏まえ、導入の検討をしていきます。なお、建設中の新庁舎の屋上には、太陽光発電用パネルを設置できる基礎工事を行っています。

9月定例会 一般質問

※質問通告順に掲載

伊藤堅治(平成会)

・新駅設置に向けての課題及び対策
・子ども・子育て支援法の制定による、本市の対応
・各公民館体育室の卓球台の整備に
他3件

大嶋達巳(無会派の会)

・自動販売機の設置状況
・保育所の入所状況
・敬老祝金の支給見込み
他1件

桂 祐司(無所属の会)

・給食費未納問題への対応
・財政健全化判断比率(将来負担比率)からみた基金のあり方と人口増に資する政策
・本市の成長・発展に向けた新駅設置の取組み
他2件

渡邊良太(無所属の会)

・子宮頸がんワクチン
・こども医療費
・新駅
他1件

滝瀬光一(平成会)

・小型家電リサイクル法の施行を受けて
・下水道事業
・特別支援教育
他1件

高橋節子(民主北本)

・介護保険法の見直しと市の対応
・太陽光発電の屋根貸しは、その後どう検討されたのか
・学校給食における、食物アレルギー・いじめ対策。県事業の発達障害支援
他1件

(仮称)こども プラザ

問1 こどもプラザの管理運営はどのようになるか

答1 1階のこども図書館は、乳幼児から小学校低学年程度までを対象とし、図書閲覧コーナーとお話コーナーを整備します。

2階部分は受付等を行う事務室、創作活動室のほか、図書室、乳幼児室、保護者の交流・情報交換の場としての談話コーナー、また会議室と集会室や相談室等も配置します。

3階部分は、体育遊戯室と屋上テラスが主な施設となっており、遊びを通じて体力増進を図り、開放的なテラスでの遊びやくつろぎも可能となっています。

また、この児童館には、子育て支援センターとしての機能を付加し、育児相談や子育てサークル等への支援など、地域の子育て家庭等に対する育児支援を行うことを計画しています。

管理運営については、(仮称)こどもプラザが図書館と児童館の複合施設であるため、管理運営主体の保健福祉部と教育委員会で連携を取りつつ、指定管理者制

度を考えています。

問2 駐車場について

答2 文化センター西側敷地内に33台分の駐車場拡張工事を行い利用可能となりました。

今後、わかりやすい動線の確保や案内、混雑時の空きスペースの誘導方法等を検討し、利用者の安全が確保できるように対応していきたいと考えています。

ネット依存症

問1 若年層における現状について

答1 市内小中学校に携帯電話の所持に関する調査を行った結果、中学3年生になると約半数の生徒が携帯電話を所持しているという

現状です。判断力や意思力が十分育っていない子どもたちにとっては、遊び道具的に触れている携帯電話やネットに夢中になってしまい、自分の意思でやめるということができなくなっていく可能性も考えられます。このようなことから、ネットへの依存が増していくことも考えられますが、現在ネット依存症の疑いのある子どもについては、教育委

員会として報告は受けておりません。

問2 予防の取組みについて

答2 ネット等利用に関する注意喚起としては、二つの視点で予防策を考えています。一つ目としては、学校現場における情報モラル教育等の推進です。学習指導要領の中に、情報社会で適正な活動を行うための考え方と態度を情報モラルと

定め、各教科の指導の中で身につけさせることとしています。二つ目として、家庭や地域等に対する様々な情報提供と啓発です。ネット使用による心的、身体的、社会的問題やネットへの依存から子どもを守るために、保護者や地域等に向けた情報提供や啓発が必要だと考えます。



湯澤美恵(共産党)

- ・福祉タクシ事業、重度心身障害者自動車燃料費助成事業
- ・地域防災計画
- ・熱中症予防

保角美代(公明党)

- ・保育行政
- ・健康寿命を延ばすこと
- ・北本市の観光施策

他1件

中村洋子(共産党)

- ・平和を考える集いを終えて、今後の課題は何か
- ・(仮称)こどもプラザの状況と各担当課の準備
- ・国民健康保険の保険者の責務

他1件

大澤芳秋(政策北本)

- ・予算編成過程の公開
- ・新庁舎で実現できる施策
- ・市への遺贈の啓発

島野和夫(公明党)

- ・新駅
- ・バス輸送の充実
- ・学校給食のアレルギー対策

金子真理子(民主北本)

- ・インターネット依存症
- ・新設のごみ処理施設
- ・選挙の投票率向上

高橋伸治(市民の力)

- ・北本市の人口
- ・北本市の産業振興策

岸 昭二(公明党)

- ・新駅設置
- ・新庁舎建設
- ・(仮称)こどもプラザ

他1件

人口減少社会 の財政政策

問1 北本市財政の運用と
基金の有効利用について

答1 平成14年度の公債費
比率は13・2%でしたが、
現在の実質公債費比率は7・
1%に改善しています。ま
た、公債費負担比率につい

ても13・4%から11・6%
に改善しており近隣自治体
に比べても低い状況です。
さらに、財政調整基金や

特定目的基金の総残高は、
33億9775万1000円
でしたが、平成15年度以降、
南部地域整備基金への積立
てを行った結果等により、
47億92万6000円まで増
えています。

基金の有効利用について
は、基金は市の貴重な財源

であり、社会情勢、経済情
勢を見きわめ、最も有効な
形で利用することが必要と
考えています。

問2 人口と新駅が財政に
及ぼす影響・対策について
答2 新駅の建設は、税収
の面においても、効果的な
事業であると考えます。人
口は開業後5年で約320
0人増と見込んでおり、そ
の結果、個人市民税は約1
億5000万円増えると思

込んでいます。さらに固定
資産税、都市計画税も伸び
るため、開業から平成21年
で税収増の累計が駅建設事
業費のうち市の負担分を超
えると考えています。市の
負担分を超えてからも税収
は少しずつ伸びるとの試算
が出ていることから、新駅
の建設は財政面においても
効果的な事業であると思

新 駅

問1 JRに市の要望書を
提出した場合、その後のス
ケジュールについて

答1 あくまで予定ですが、
JRと覚書を取り交わし設
計協議に入ります。まず基
本設計をJRに委託します。

その後、具体的な工事の

詳細設計を委託します。詳
細設計の後に工事施工協定
を締結して工事の実施とい
う運びになります。スムー
ズに進捗して開業予定は平
成31年頃と想定しています。
問2 新駅周辺整備への地
権者との交渉について

答2 西側の約9ヘクタール
の区域は三菱マテリアル
株式会社他2者が所有され
ています。

5月に市長と担当者で三

菱マテリアル本社を訪問し
懇談を行いました。三菱マ
テリアル本社からは、「ま
ずは市が考える開発計画を
提示いただきたい」との話
がありました。今後、住民
投票で賛同いただいた後に、
関係地権者はもとより、市
民の皆様からの意見を伺い
ながら計画づくりに着手す
ることになります。

問3 桶川市への働きかけ
について
答3 平成16年に高崎線桶
川・北本間新駅設置促進期
成会が発足したので、過去
に期成会への加入を桶川市
長、桶川市議会議長へ文書
で依頼した経緯があります
が、加入について前向きな
回答は得られませんでした。
今後、新駅設置が具体化し
た折には桶川市に、協力的
いただけるよう働きかけてい
きます。

傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密
着した重要な問題を審議して
います。
身近な市政を知るためにも、
議会を傍聴してみませんか。
次回定例会から新議場（新庁
舎3階）で行います。

次回の定例会は、

11月28日（木）

開会の予定です。

工藤日出夫（市民の力）
・不祥事を起こした職員的人事管理
・自治と連帯の魅力的な地域の公
民館
・自治基本条例は誰が守る条例な
のか

黒澤健一（平成会）

・安心安全なまちづくり
・人口減少社会の財政政策
・地名地番整理事業の進捗状況と
今後の方針

他1件

現王國孝昭（政策北本）

・基金のとらえ方
・条例のコンプライアンス（法令
順守）

建設経済常任委員会

「新駅建設の賛否を問う住民投票条例の制定」

Q. 投票率の成立要件を何故設けなかったのか

A. 成立要件を設けると、投票に行かないように働きかけるボイコット運動を招きやすくなり、住民投票に対する期待感を失わせることが考えられることから、投票率による成立要件は設けないとしたものです。

Q. 情報の提供は、住民が新駅建設について賛否の判断にあたって最も重要と考えるが、今後どのように実施していくのか

A. 市民に対して、11月中旬の土・日に市内8地域において説明会を実施し、新駅計画の概要、事業のスケジュール、新駅設置による効果、事業費の内訳及び財源等を周知していきます。また、広報紙の折り込み、自治会の回覧及びホームページ等あらゆる手段を用いて、しっかりと情報の提供を行っていきます。

Q. 新駅建設の財源として、庁舎建設基金を振り替えなければならない理由について

A. この新駅は請願駅であり、請願する地元市が当該費用を負担することとなります。新駅設置が決まればJRと協定を結び、負担金を支払い、駅が建設されることとなります。短期間に現金を用意する必要があることから、庁舎建設基金も充当する資金計画を立てたものです。市民生活に影響を与えない範囲で、当該基金を新駅建設に充当して進めたいと考えています。

Q. 新駅に係る収支について、新駅周辺の固定資産税、市民税の増収を試算しているが、北本駅周辺の税収の動向については

A. 新駅が設置されることにより、周辺の土地・家屋の価値が上がる税収増は算出していますが、北本駅周辺の税収の動きについては検討していません。あくまでも新駅建設による税収増が新駅の建設費、新駅に係る施設の維持管理費に対して、税収が何年で当該費用になるかを算定したものです。

「一般会計補正予算」

Q. 南部地域整備経費の調査委託料について

A. 新駅に関する調査として①基礎条件の整理として課題等の把握、新駅周辺の状況整理として立地の動向や土地活用等の整理②基本計画案の検討として、新駅西側の約9ヘクタールの三菱マテリアル(株)他2者の所有している土地の利用計画、公共施設の整備計画③事業化に向けた検討として、事業手法の検討、概算事業費の検討、社会資本整備総合交付金の導入に向けた検討④年度別行動計画(案)の策定等の4項目を考えています。

「一般会計決算」

Q. 東西軸道路見直し業務委託について

A. 都市計画道路南大通線を国道17号の山中交差点から東側に延伸することに関して検証を行いました。この結果では、費用便益比(B/C)では、約1.8となり、整備効果が認められる結果となりました。道路の条件としては、将来的に交通量が減少することや南北の幹線道路である国道17号へ交通量が分散することなどから、現在の南大通線は4車線ですが、延伸区間は2車線としています。

総務文教常任委員会

「人口減少」

Q. 人口減少や高齢化に伴う市民税の影響について

A. 給与所得の納税義務者は、平成23年度と比較して392人減少しています。一方、年金所得者を含むその他の所得の納税義務者は231人増加しています。納税義務者全体では、159人減少していきます。

現在、個人市民税額の約8割は給与所得者からの税収となっています。毎年少しずつ給与所得者が減少し、年金所得者が増加してきている状況のため、減収が続いていくものと想定されます。

保健福祉常任委員会

「生活保護」

Q. 平成24年度生活保護受給者の就労支援について

A. 65歳までの就労をする意欲があって健康上問題がない方を対象に就労支援を行い、ハローワークとの連携で支援対象者7人中3人、次に県のチャレンジ支援事業で25人中3人、そして北本市の就労支援員による支援で22人中4人、最後にケースワーカーによる就労支援で103人中22人が就労開始となりました。平成24年度は就労支援対象者157人中32人が就労している状況です。

「学童保育室の指定管理制度」

Q. 北本市学童保育室の指定管理制度導入にあたっての契約の更新が3年後であるが、同じ指定管理者となるのか

A. 次回の更新までの間に、四半期ごとのモニタリングによる評価や指定管理者が行う保護者へのアンケート調査を行います。そうした評価や調査を踏まえて、外部の評価委員会の評価を受け、次の更新準備に入るようになっています。今回、指定管理者となった法人は、このような結果を受け、経営上も運営が適切に行われていれば、次回の指定に向けた事業者としての評価につながるようになります。

特別委員会の報告

○庁舎等建設特別委員会

庁舎等建設特別委員会では、この間、以下の事項が議論されました。

新庁舎（Ⅰ期）への引越し及びⅠ期工事完成後の仮設計画についての報告を受けました。引越し後、市民サービスが停滞することがないように、10月半ばの連休中に必要な部署の引越しは完了させることを、担当者に要請しました。

また、今後の旧庁舎の取り壊し、Ⅱ期工事の進捗において、仮囲いなどは安全性を確保しながら、来庁する市民の方々の利便性も確保するように要請しました。

駐車場については、隣接する文化センターの西側に、新たに33台分を増設し、対処することを確認しました。

主な提出案件の結果一覧

議 案 名	議決結果	平成会	公明党	政策北本	日本共産党	無所属の会	市民の力	民主北本	無会派の会
平成 24 年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	×	○	○	○	○
平成 24 年度北本市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	×	○	○	○	○
平成 24 年度北本市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度北本市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 24 年度埼玉県広域公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○
北本市学童保育室設置及び管理条例の全部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
北本市子ども・子育て会議条例の制定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
北本市における新駅建設の賛否を問う住民投票条例の制定について	可 決	○	○	△	○	×	○	○	○
公民館等に係る指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	×	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について（議案第 72 号～議案第 74 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	△	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（議案第 77 号～議案第 78 号）	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度北本市一般会計補正予算（第 5 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 25 年度北本市一般会計補正予算（第 6 号）	可 決	○	○	△	×	○	×	×	○
議員提出議案									
新駅設置の決議	可 決	○	○	△	×	○	×	×	○
地方税財源の充実確保を求める意見書	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
提議委員会									
「都市再生機構住宅の 2014 年 4 月からの継続家賃値上げ中止と公共住宅政策の確立」を求める意見書	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願									
都市再生機構住宅の 2014 年 4 月からの継続家賃値上げ中止と高家賃引き下げを求める意見書採択を求める請願	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○
「早期に新駅設置要望書を JR 東日本へ提出する事を求める決議」の請願	趣旨採択	○	○	△	○	○	△	○	○

*上記以外に 10 件の議案審議がありましたが、いずれも挙手全員により
原案のとおり可決しています。

各会派の議員数 平成会【6 人】、公明党【3 人】、政策北本【2 人】、日本共産党【2 人】、
無所属の会【2 人】、市民の力【2 人】、民主北本【2 人】、無会派の会【1 人】

○は議案に対して賛成の会派
×は議案に対して反対の会派
△は議案に対して賛成と反対のあった会派

委員 委員長	委員 湯澤美恵子
副委員長	副委員長 高橋伸治
委員	委員 金澤真子
委員	委員 滝本光一
委員	委員 渡辺孝昭
委員	委員 現王良一
委員	委員 金澤真子

議会だより編集委員

(湯)

編集後記

9 月議会は「新駅建設の可否を問う住民投票」の是非、関連する補正予算や決議をめぐり議論が繰り広げられました。

多くの傍聴者やテレビ・新聞等マスコミの取材も際立った「新駅」議会でした。北本市をより良くしたいとの思いはどの議員も同じです。将来の北本をどう描くのか、それぞれの考え方によって賛否の分かれることでもあります。市民の思いをしっかりと受け止め、付託を受けたものとして、真摯に議論していかねばならないといっそう思いを強くしました。昭和 38 年に開場して半世紀、多くの議員により論戦が繰り広げられてきた議場が閉場しました。